

令和4年度

平塚市博物館実習生展示

「私達の好きな博物館資料」

当館では9月7日から15日まで、博物館学芸員を目指す学生たちが、学芸員に関する技能や知識を身につけるための博物館実習を行いました。実習では資料整理や教育普及活動を体験し、最後に展示制作を行いました。

本展示では、当館の全6分野の資料の中で、実習生が好きな資料について、グループごと紹介しています。

学芸員の卵たちの工夫を凝らした展示をご覧ください。

令和4年度博物館実習生

環境センター

生物 「しろさぎ」ってどんな鳥?!



考古 おもしろい土器



歴史 徳川家茂から始まる平塚市



自然 トーナル森の世界





「おもしろい土器」

おもしろい土器の歴史

おもしろい土器の歴史

おもしろい土器の歴史

おもしろい土器の歴史

「ダイカイ大解剖」



「トール岩の世界」



歴史



本館で開催
平塚市博物館実習生展示
「私達の好きな博物館資料」



考古 おもしろい土器

ナゾがいっぱい！ 縄文土器の世界

縄文土器は、およそ1万年以上前から1万年以上続いた縄文時代につくられた土器のこと입니다。土に意匠や意匠が施されたと考えられています。そもそも縄文土器は特殊な印象を持たれていますが、中にはシンプルな文様や幾何学文様のほか、同じく使われているかわからないような図柄が施されています。中には、そうした縄文土器に象徴的な意匠が施されている縄文土器の類がみられます。

唇坂式土器と 五頤ヶ台式土器

同じ縄文器具なのに 文様が違う？

唇坂式土器は、粘土で器を作り、その中に半分に割った竹管(半截竹管)を刺すようにして文様を刻むのが多くみられます。対して、発行する時期の五頤ヶ台式土器は、同じ半截竹管を使っていますが、縷を引くために使っています。このように、文様を刻む道具(縄文器具)が同じでも、時期によって文様のつけ方が異なることが分かります。

注口土器は

何を注いでいたのか？

注口土器は、口縁部や側面に管状の注口がつけられた土器です。縄文時代後期前期にみられる注口のついたものが現れ、後期には筒状の注口土器のものも盛んに作られるようになりました。注口土器の用途は、実際に使われたような痕跡が確認できないことから、土器の内部に入れた液体を煮るためではなく、注ぎ分けるために使われたと考えられています。しかし、この土器は何を注いでいたのかは分かっていません。

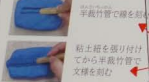
香炉形土器は

何につかっていたのか？

香炉形土器は、縄文時代の終わり頃に作られた特殊な形の土器です。お香をたく香炉にしていることから、香炉形土器と呼ばれますが、関東の後期中期に出現した十字形の約形半を指す土器が原型とも考えられます。実際は、器の中で何かを煮ていたような面とは確認されず、何のために作られたかわかっていません。説としては、儀式や祭祀で使用されたと考えられる香炉形土器と、約形半の中の焼かり印跡として使用されたと考えられる打土器があります。



五頤ヶ台式土器



唇坂式土器



歴史

徳川家茂から辿る平塚宿



平塚宿と徳川家茂

徳川家茂が平塚宿を訪れたのは、1853年（安政2年）のことです。この時、家茂は、平塚宿の町並みや、平塚宿の歴史を、日記に記述しています。家茂の日記には、平塚宿の町並みや、平塚宿の歴史が、詳しく記述されています。家茂の日記には、平塚宿の町並みや、平塚宿の歴史が、詳しく記述されています。



平塚宿の歴史

平塚宿は、1600年代に、徳川家康によって、築城されました。平塚宿は、1600年代に、徳川家康によって、築城されました。平塚宿は、1600年代に、徳川家康によって、築城されました。

平塚宿の歴史

平塚宿は、1600年代に、徳川家康によって、築城されました。平塚宿は、1600年代に、徳川家康によって、築城されました。平塚宿は、1600年代に、徳川家康によって、築城されました。

平塚宿の歴史

平塚宿は、1600年代に、徳川家康によって、築城されました。平塚宿は、1600年代に、徳川家康によって、築城されました。平塚宿は、1600年代に、徳川家康によって、築城されました。

平塚宿の歴史

平塚宿は、1600年代に、徳川家康によって、築城されました。平塚宿は、1600年代に、徳川家康によって、築城されました。平塚宿は、1600年代に、徳川家康によって、築城されました。

教科書にのっていない おもしろい土器

教科書にのっていない おもしろい土器



おもしろい！ トーナル岩の世界



トーナル岩の世界

トーナル岩の世界

京都・奈良動物園動物資料館
「私たちの好きな
博物館資料」
生物

「しらさぎ」ってどんな鳥!?

季節毎のシンボル「しらさぎ」っていない？

突然ですが皆さんは自分の住んでいる地域の「市民の鳥」をご存知ですか？ご存知の方も多いと思います。「しらさぎ」です。京都府のシンボルとして、1971年制定された「市民の鳥」です。市民の鳥とは、その地域に広く見られる鳥で、市民の生活と密接な関係にあること、また、その地域に由来する歴史や文化を伝えることなどが条件とされています。市民の鳥に選ばれた「しらさぎ」は、その地域に由来する歴史や文化を伝えることなどが条件とされています。

本展では、「しらさぎ」としてよく知られている4種類の「しらさぎ」の図を季節ごとに並べてみました。それぞれの図の色が、その季節のシンボルカラーになっています。



↑しらさぎたちの成長の様子です。↓



コサギ
ペリカン目・チドリ科

体長 約150cm
翼の長さ 約80cm

全身は白く、首の根元は黒い。首は長く、曲げられる。翼は長い。

コサギは、水辺に生息する。水辺で生活する。水辺で生活する。水辺で生活する。

コサギの卵は、水辺に産む。水辺に産む。水辺に産む。水辺に産む。

アマサギ
ペリカン目・チドリ科

体長 約150cm
翼の長さ 約80cm

全身は白く、首の根元は黒い。首は長く、曲げられる。翼は長い。

アマサギは、水辺に生息する。水辺で生活する。水辺で生活する。水辺で生活する。

チュウサギ
ペリカン目・チドリ科

体長 約150cm
翼の長さ 約80cm

全身は白く、首の根元は黒い。首は長く、曲げられる。翼は長い。

チュウサギは、水辺に生息する。水辺で生活する。水辺で生活する。水辺で生活する。

ダイサギ
ペリカン目・チドリ科

体長 約150cm
翼の長さ 約80cm

全身は白く、首の根元は黒い。首は長く、曲げられる。翼は長い。

ダイサギは、水辺に生息する。水辺で生活する。水辺で生活する。水辺で生活する。

天文の秋の夜更け
星の観察会
秋の星座

天文

見よう! フラネタリウム 使おう! 星座早見盤



はじめに

皆さんは最近、夜空を見上げていますか？
夜空にはたくさん星が輝いています。
昔の人は数々の星を数えてながら、絵を描きました。
これが「星座」です。
今回の展示では早稲市博物館にあるフラネタリウムの魅力を、
実際に星座を探る体験となる星座早見盤についてご紹介します。
夜空に輝く星をただ眺めることも楽しいと思いますが、
今日の夜は星座を探してみませんか？

展示を通じて、皆さんが夜空を見上げる
「きっかけ」になれば幸いです。

星座を探してみよう!

2つの星座は、秋の代表的な星座です。
秋の北極星圏は「ベータス」と呼ばれていますが、星座名は「ベータス」です。
「カシオペア」は、5個の星が「W」をかくように並んでいます。
一方、フラネタリウムの星座を見たり、星座早見盤を使ったりして、2つの星座と秋の夜更けを探してみてください。

星を見てみよう! ~フラネタリウム~

早稲市博物館のフラネタリウムでは、その日、早稲から見える星座を覗くことができます。星や星座の見つけ方などが学芸員の解説を聞きながら、一緒にいろいろな星や星座を探してみよう。普段は朝の打ち上げによって見えない暗い星や天の河を見ることが出来るのも、フラネタリウムの魅力です。また時間や場所をも撮りし、過去現在未来、世界のどの地点の星座でも見ることが出来ます。「星座絵」を映すことのできるのもフラネタリウムの大きな特徴です。星座絵を見ることで星の物語を想像しやすくなるでしょう。関連資料として、早稲市博物館のフラネタリウムの星座絵の元となった「フラネタリウム天球図」を展示しておりますので、ぜひご覧ください。

星を見てみよう!

~フラネタリウム~

PANDORA(パンドラ)は、2011年8月から南座まで設置している三代目設備です。映せる星の数は二代目の設備機と比べると6,500個から約4,000個に大幅に削減し、天の川は星で再現できるようにしました。

星を見てみよう!

~星座早見盤~

星座早見盤とは、日時を決めることで、どの方向にどのような星座を見られるかを知ることが出来る便利な道具です。機能によって星座の位置や見る事が出来る星座が異なりますが、今回展示している星座早見盤から構成できるように設計し、暗い星が見られるように設計しています。実際に星座早見盤を使ってみてください。



地質

のぞいてみよう！
トータル岩の世界

トータル岩ってなに？

「トータル岩」は、「溶岩川流の岩」に属している岩で、火山の噴火で見られます。

マグマが地下深くでゆっくり冷えて固まってできた岩（深成岩の一種）です。

異なるトータル岩が分布しています

トータル岩は何からできてるの？

「トータル岩」は主に「斜長石」、「黒雲母」、「角閃石」という鉱物からできています。

観察してみよう！

本に載せられているトータル岩の写真の違ひは鉱物の違ひによるものです。どんな違ひがあるか、観察してみましょう。

薄片を偏光顕微鏡で見よう！

かみのけの大きさを測ろう！

岩石を切って、削って、運べるほど薄くしたものが岩石の薄片です。

偏光顕微鏡で薄片を観察すると、鉱物の特徴がわかりやすくなり、岩石がどんな鉱物でできているかを詳しく知ることができます。

偏光顕微鏡のしくみ

偏光顕微鏡とは、「偏光板」が入った特殊な顕微鏡です。

「偏光板」で「偏光」を作ります。光に透すと、多量特有の色や明るさの変化を示します。

偏光板の組み合わせ方

偏光板と偏光板を組み合わせると、偏光板の向きによって、偏光板の間に挟まれた物質の色の違いが観察できます。

さまざまなトータル岩

偏光顕微鏡のしくみ

偏光顕微鏡で見たとき(4/4)